

平成二十三年度 入学試験問題 (平成23年3月12日)
「国語総合」

戸田中央看護専門学校

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

備瀬の集落に残る住宅はどれも木造である。木造住宅は、コンクリート住宅に比べると構造的に弱いものなので、台風の猛威から家族を守るためには建物単位では不十分で、①建物全体を樹木で包み、さらに隣の住人とも協調し合いながら防風林を形成することが必要であった。つまり、あの備瀬の美しい街並みは、弱い木造建築を補うための必然性から生まれたものなのである。現代の住宅から比べると、確かに「A」なのかもしれないが、それがかえって環境を「B」にしていたといえるだろう。

一方、コンクリート住宅の場合は構造的に強固なものだから、まったく周囲の環境に依存することなく、建物単体で台風に対処することができる。こうした技術の進歩により、「個」と「個」、「個」と「街」の関係は急速に失われ、住まいづくりを、周囲との関係にとらわれることのない、自由で自分本位なものへと変えることになったのである。その住まいづくりが、現代都市の調和のない街並みを生み出していったのだろう。

私は、こうした時代の大きな変化を、②次のようなパラダイムの変化として捉えている。

①伝統的な集落を成立させていた時代のパラダイムⅡ「自立型共生」

②都市問題を生み出している現代のパラダイムⅡ「自立型孤立」

依存型の弱い技術をアベースにしていた時代には、必然的に共生関係が生まれるが、自立型の強い技術をベースにしている時代では、共生する必然性がなくなり、外環境と関係を持たない住まいづくりが街並みと環境を破壊し、ヒートアイランド現象などの現代の都市問題を招くと同時に、地域コミュニティを必要としない暮らしが個人の孤立化を招くという見方である。

こうしたパラダイムという、時代の価値観を規定している枠組みが、私たちの住まいを街の環境から切り離し、その結果、「住まいをつくること」が「街の環境を破壊すること」につながるという現代の「イジレンマ」を招いているのだ、と私は考えている。そう捉えると、③現代のジレンマを打開するための方策は、この現代のパラダイムそのものをいかに転換させるかということに論点は（ a ） はずである。

この現代のパラダイムは、「分析」という言葉で説明するとわかりやすい。
まず、住居と外的環境が分断された。樹木がなくなつて、家屋が夏の暑い日差しに（ b ） ても、外気から分断された部屋でエアコンのスイッチを入れれば、たちまち涼しくできるからだ。こうして私たちはスイッチ一つで暮らしをコントロールする「便利さ」を手に入れたのである。

また、人間関係も分断された。あえて他者と関係性を（ c ） 必然性がなくなったことで、それまでの濃密な人間関係から解放され、他人に左右されることのない、勝手気ままな自分らしいライフスタイルを追求することが魅力的な価値として支配的になった。こうした分断を基調としながら追求される「便利さ」は、自立型の技術を持ち合わせていなかった時代では実現したくてもできなかったもので、技術の進化は一気に時代のパラダイムを転換させてしまった。

しかし、その一方で、先に述べたようなジレンマを招くことになった。
室内で便利なエアコンの冷気に当たっていると、私たちは莫大なエネルギーを消費しつつ、室外機から熱風を吹き出し、環境に負荷を（ d ） いる。その結果、大都市は深刻なヒートアイランド現象に悩まされるようになってしまった。

人間関係の希薄さは、アパートや近隣にどんな人が住んでいるのかわからないといったレベルからコミュニティの治安自体に不安を感じるといった状況をもたらしたり、若者のひきこもりといった現象や、老人が誰にも気づかれなまま亡くなり、日数が経つてから発見されるといった孤独死の報道を目にすることさえ珍しくなくなっている。

また、街にしても、各戸が相互に関係を持つことなく、自由に家を建てるのが当たり前となり、④調和のとれた美しい街並みも消えてしまった。

こうしてみると、この「便利さ」だけを追求していった結果、全体としては暮らしにくい、「豊かではない」社会を作ってしまった側面があることがわかる。そういった意味で、現代は「便利だけど豊かではない時代」といえるだろう。

このような【 I 】から【 II 】へのパラダイムの転換は、基本的には住宅の建築技術の進化によってもたらされたものであるが、別の見方をすれば、「不便だけど」【 B 】な時代から【 C 】だけど豊かではない時代への変換でもあった。そして、それは私たち自身が望んだものだった。

甲斐徹郎「都市の中で自然と住む」より

※備瀬：沖縄の本部半島にある集落。集落全体が豊かな緑に囲まれ、街全体が一つの生き物のような豊かな環境が形成されている。

※ヒートアイランド現象：人為的に起こされた、都市部の気温が周辺に比べて異常に高くなる現象。

※ライフスタイル：生活の様式。人生観、価値観などを含めた個人の生き方。

問一、文中の（ a ）（ d ）に入る言葉をそれぞれ次から選びなさい。

（ a Ⅱ 解答番号 1、 b Ⅱ 解答番号 2、 c Ⅱ 解答番号 3、 d Ⅱ 解答番号 4 ）

- | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|-------|---|-------|
| a | 1 | 絞られる | 2 | 開かれる | 3 | 止められる | 4 | かけられる |
| b | 1 | そそがれ | 2 | さらされ | 3 | かけられ | 4 | 照らされ |
| c | 1 | 結ぶ | 2 | 取る | 3 | 得る | 4 | 離す |
| d | 1 | ひいて | 2 | さして | 3 | かけて | 4 | おして |

問二、二重傍線部ア～ウに最も近い意味のものをそれぞれ次から選びなさい。

（アⅡ 解答番号 5、イⅡ 解答番号 6、ウⅡ 解答番号 7）

- | | | | | | | | | |
|---|---|----------------|---|----------------|---|-----------|---|----|
| ア | 1 | もと | 2 | はじめ | 3 | すえ | 4 | さき |
| イ | 1 | 二兎を追うものは一兎をも得ず | 2 | あちら立てればこちらが立たぬ | 3 | 聞いて極楽見て地獄 | | |
| ウ | 1 | 強制 | 2 | 制御 | 3 | 創造 | 4 | 誘導 |

問三、波線部①のような状況によって必然的に生まれるものはなにか。次の空欄に入る二字の言葉を選んで答えなさい。

（解答番号 8）

「個」と「個」、「個」と「街」との（ ）関係。

- | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|
| 1 | 追求 | 2 | 共生 | 3 | 分断 | 4 | 支配 |
|---|----|---|----|---|----|---|----|

問四、文中の「 A 」～「 C 」に入る二字の言葉を次から選びなさい。（二カ所ある B には同じ言葉が入る。）

（ A Ⅱ 解答番号 9、 B Ⅱ 解答番号 10、 C Ⅱ 解答番号 11 ）

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| 1 | 便利 | 2 | 不便 | 3 | 消費 | 4 | 豊か | 5 | 自由 |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|

問五、波線部②について、「パラダイム」とは何か、次から選びなさい。（解答番号 12）

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 伝統的な集落を成立させていた時代 |
| 2 | 都市問題を生み出している現代 |
| 3 | 時代の価値観を規定している枠組み |
| 4 | 周囲との関係にとらわれることのない住まい |

問六、波線部③とはなにか、適当なものを次から選びなさい。（解答番号 13）

- | | |
|---|---|
| 1 | 伝統的な集落の中に、自然災害に強い近代的な建築を持ち込もうとすると、全体の調和が損なわれ、みずぼらしい街並みになってしまうということ。 |
| 2 | 自分の住まいを街の環境から切り離して自由な家づくりを試みると、周囲の反発を受けて孤立し、豊かな人間関係を築けなくなるということ。 |
| 3 | いっときの流行に目を奪われて環境にそぐわない家建て、勝手気ままなライフスタイルを追求してみても、ただ暮らしにくくなるだけだということ。 |
| 4 | 個人が便利で豊かな生活を追求すると周辺の環境が豊かさを失い、個人が勝手に自由な生き方を求めると一人一人が孤立してしまうということ。 |

問七、波線部④のような状況をもたらす要因となったものは何か、次から選びなさい。（解答番号 14）

- | | |
|---|------------|
| 1 | 建築技術の進化 |
| 2 | ヒートアイランド現象 |
| 3 | 自然環境の大きな変化 |
| 4 | 住居と外的環境の分断 |

問八、文中の【 I 】【 II 】にあてはまるものをそれぞれ選びなさい。（ I Ⅱ 解答番号 15、 II Ⅱ 解答番号 16 ）

- | | |
|---|-------|
| 1 | 自立型孤立 |
| 2 | 依存型転換 |
| 3 | 自立型技術 |
| 4 | 依存型共生 |

問九、本文の内容に合っているものを次から一つ選びなさい。（解答番号 17）

- | | |
|---|---|
| 1 | 現代の都市問題を解決するためには、過去の集落に学び、単独の建物では自立のできないような住宅を導入すべきである。 |
| 2 | 現代の美しいとはいえない街並みに、かつてのような美しさを取り戻すには、さらなる建築技術の進化が不可欠である。 |
| 3 | 構造的に強固な住宅の普及によって、周囲との関係にとられずに生きることが可能になり、今日の都市問題が生まれたということが出来る。 |
| 4 | 他人とのかかわりを恐れる現代人の心理が、他人や外環境への無関心へと拡大し、周辺環境を軽視する風潮を生み出した。 |

二、18～22について、四字熟語が完成するように、次の()に入る漢字を選びなさい。

- | | | | | | | | | | |
|----|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 18 | 異()同音 | 1 | 口 | 2 | 句 | 3 | 驅 | 4 | 区 |
| 19 | 旧態()然 | 1 | 已 | 2 | 依 | 3 | 以 | 4 | 異 |
| 20 | 一()即発 | 1 | 食 | 2 | 蝕 | 3 | 触 | 4 | 拭 |
| 21 | 栄枯盛() | 1 | 粹 | 2 | 遂 | 3 | 睡 | 4 | 衰 |
| 22 | 取()選択 | 1 | 斜 | 2 | 者 | 3 | 捨 | 4 | 謝 |

三、23～27のことわざの意味に最も近い熟語を後から選びなさい。

- | | | | | | | | | | |
|----|-----------|---|----|---|----|---|----|---|----|
| 23 | 石の上にも三年 | 1 | 寡黙 | 2 | 平凡 | 3 | 忍耐 | 4 | 危機 |
| 24 | 渡る世間に鬼はない | 1 | 思惑 | 2 | 善意 | 3 | 憶測 | 4 | 希望 |
| 25 | 花よりだんご | 1 | 実質 | 2 | 露骨 | 3 | 非凡 | 4 | 機敏 |
| 26 | 急がばまわれ | 1 | 慎重 | 2 | 苦戦 | 3 | 有能 | 4 | 邪魔 |
| 27 | 立て板に水 | 1 | 経緯 | 2 | 能動 | 3 | 論理 | 4 | 能弁 |

四、28～31の言葉の意味をそれぞれ選びなさい。

- | | | | | | | | | | |
|----|-----|---|-----------------|---|-------------------|---|------------------|---|------------------------|
| 28 | 水物 | 1 | 成功の見込みはほとんどないもの | 2 | 成功するか否かは当てにならないもの | 3 | うまくいっているのを邪魔するもの | 4 | はじめからうまくいかないと決めつけているもの |
| 29 | 試金石 | 1 | 値打ちのはっきりしたもの | 2 | 建物の土台として使う石 | 3 | 物の価値をはかるものになるもの | 4 | 実験で作られた人工鉱石 |

- | | | | | | | | | | |
|----|---------|---|-----------|---|-----------|---|----------------|---|------------|
| 30 | 兜を脱ぐ | 1 | 相手方に降伏する | 2 | 相手に敬意を払う | 3 | 戦いに勝っても心をひきしめる | 4 | 決闘を申し込む |
| 31 | 馬脚をあらわす | 1 | 世間のうわさになる | 2 | 物笑いのたねになる | 3 | 化けの皮がはがれる | 4 | 隠れた才能を発揮する |

五、32の言葉の使い方が正しいものを次から選びなさい。

- | | | | | | | | | | |
|----|----|---|---------------------------|---|------------------------|---|---------------------------|---|----------------------|
| 32 | 杞憂 | 1 | こんな状態では日本の将来に杞憂を感じざるを得ない。 | 2 | わがままな娘なものだから毎日杞憂が絶えない。 | 3 | ついに落第かと思っただが杞憂に終わってほっとした。 | 4 | 親友が入院したと聞いて症状が杞憂される。 |
|----|----|---|---------------------------|---|------------------------|---|---------------------------|---|----------------------|

六、33～37について、読みが全て正しいものには1を、正しくないものには2を答えなさい。

- | | |
|----|----------------------------|
| 33 | 真似(まね)・灰汁(あく)・解脱(かいだつ) |
| 34 | 芝生(しばふ)・気配(けはい)・虚空(こくう) |
| 35 | 野良(のら)・流転(るてん)・兌換(だかん) |
| 36 | 単衣(たんい)・叱咤(しった)・棧敷(さじき) |
| 37 | 思惑(おもわく)・蚊帳(かちょう)・築山(ちくやま) |

平成二十三年 度 「国語総合」 正解

平成 23 年 3 月 12 日

31	21	11	1
3	4	1	1
32	22	12	2
3	3	3	2
33	23	13	3
2	3	4	1
34	24	14	4
1	4	1	3
35	25	15	5
1	1	4	1
36	26	16	6
2	1	1	2
37	27	17	7
2	4	3	2
	28	18	8
	2	1	2
	29	19	9
	3	2	2
	30	20	10
	1	3	4